

				○顕微鏡でみると。 — 食塩の結晶 ににている。	皿、中性液、ビーカー、ガラス棒、三脚、マッチ、スライドガラス
結果を問題と対比する一般化	まとめ一般化	6. 塩酸がとけていたものと水酸化ナトリウムがはたらき合って、別の質のものができたことを知らせる。 7. 中和の定義、他の中和の例について説明する。	5. 理解度を観察する。	6. 実験の結果を問題と比べながら話し合う。 ○2つの水溶液がはたらき合ってまったく性質の違った食塩がができる。 7. 中和の意味と、他の中和の例についての説明をきく。	○塩酸がとけていたものと水酸化ナトリウムがはたらき合って別の質のものができたことを強調する。
発展的意欲をもつ	転移	8. 「塩酸に水酸化ナトリウムを加えてできた液が酸性のときも、食塩ができるいるだろうか」について調べる意欲をもたせる。	6. 児童のとりくみを観察・援助する。	8. 次時の学習課題をきく。	○本時で学習した見方をもとにして類推させ、意欲をもりあげる。

(5) 授業の検証

① 即時の評価

観察、発問、カードによる即時の評価をあげると次のようである。

段階	基 本 発 問 ・ 提 示	反応・評価															
問も題つ意識を	1. 酸性の液とアルカリ性の液とをませ合わせて、中性の液（酸でもない、アルカリ性でもない）ができた。中性の液になるのはなぜだろうかと考えてみましたか。 2. 中性の液になるのは、水溶液の中でどんなことがおこったかについて調べるのであるが、何か気づいたことはないですか。	挙手 緊張感で見る 36/37 緊張感で見る 35/37															
問構題想解を決てるのる	3. 塩酸を○、水酸化ナトリウムを●で表わすと、中性の液はどのようになっていると考えられますか。 (1) まじり合っている。 (2) 別のものができる。	20/37 15/37															
実験観察によるたしかめ	4. どちらの考え方方がよいか、確かめるには、どうしたらよいでしょうか。 (先行経験の想起) 5. 実験のしかたがよくつかめましたか。わからないことはないですか。	挙手 + 反応 4/37 30/37 37/37															
	<p>実験・観察カード 題材（水溶液の変化）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観 点</th> <th>予 想 (仮 説)</th> <th>評 定</th> <th>気 づ い た こと</th> <th>教 師 評 定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>液よいのうる中にか。はなどっのて</td> <td>  ○まじり合っている。 </td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>熱体すはるでると気か。</td> <td>○塩酸にとけていた 気体ができるだろう。</td> <td>×</td> <td> ○リトマス紙を近づけてもかわらない ○水蒸気がでた </td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	観 点	予 想 (仮 説)	評 定	気 づ い た こと	教 師 評 定	液よいのうる中にか。はなどっのて	 ○まじり合っている。	×		×	熱体すはるでると気か。	○塩酸にとけていた 気体ができるだろう。	×	○リトマス紙を近づけてもかわらない ○水蒸気がでた	○	
観 点	予 想 (仮 説)	評 定	気 づ い た こと	教 師 評 定													
液よいのうる中にか。はなどっのて	 ○まじり合っている。	×		×													
熱体すはるでると気か。	○塩酸にとけていた 気体ができるだろう。	×	○リトマス紙を近づけてもかわらない ○水蒸気がでた	○													